

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/20		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200587036901	科目番号 / Course code	05870369
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12311_006		
授業科目名 / Course title	a14教育相談 / Educational Counseling		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	内野 成美 / Utino Narumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	内野 成美 / Utino Narumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	内野 成美 / Utino Narumi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教職課程関連科目, 教職に関する科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soudan nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後に講義室で受け付ける 木曜日・金曜日5限 面談の場合もあるため、メールでアポイントを取ること。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	一人ひとりの児童生徒の人格形成および教育指導上の問題について、教育の場を中心に相談をおこ ない、本人やその親に問題解決のための援助・助言・指導・治療を行うことができる能力を身につ ける。		
授業到達目標/Course goals	教育相談の意義や役割について説明することができる 実際の場面で、傾聴的に相談者の話を聞き、相談に応じることができる。 相談者の相談内容を整理、分析し、問題解決のための提案を行うことができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	発表の成果物及びその過程での記録 (40%) 授業ごとのレポートおよび小テスト (45%) 授 業への参加度・貢献度 (15%) 合計60%以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法 ) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予めレジュメや資料を配布し、読んでくるべき箇所を示しますのでそれらに目を通したうえで講義 に臨むようにしてください (2h)。授業終了後は、資料やレジュメを再読し、理解を確実にするよ うに努めてください (2h)。		
キーワード/Keywords	教育相談・生徒理解・支援の段階・カウンセリング		
教科書・教材・参考書/Materials	参考書：教育相談の理論と実際 河村茂雄 著 図書文化		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	教員免許状習得を目指し、意欲・関心を持って受講する学生を望む。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい 。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業内容、準備学習等の資料は適宜配布する。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	内野 成美/スクールカウンセラー・スクールカウンセラースーパーバイザー、いじめ・暴力行為な ど児童生徒の問題行動、不登校等への対応について、発達障害等野路同性との個別の支援について等 /長崎県教育委員会
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	教育相談の意義と役割
第2回	カウンセリングの基本技法
第3回	学校現場の諸問題 (不登校等) への理解
第4回	学校現場の諸問題 (いじめ等) への理解
第5回	学校現場の諸問題 (発達障害等) への理解
第6回	居心地の良い学級づくりのためのアセスメント
第7回	課題を抱える子ども (保護者) のためのカウンセリング技法
第8回	課題解決のための演習 1 (問題の焦点化)
第9回	課題解決のための演習 2 (問題の深化)
第10回	課題解決のための演習 3 (問題とその対応についての発信)
第11回	発表 1
第12回	発表 2
第13回	振り返り 1
第14回	振り返り 2
第15回	危機介入
第16回	総括およびまとめのテスト

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/06/05		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200587038101	科目番号 / Course code	05870381
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12351_005		
授業科目名 / Course title	a14芸術COC / Art		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	中川 泰 / Nakagawa Tooru, 内野 成美 / Utino Narumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	中川 泰 / Nakagawa Tooru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	中川 泰 / Nakagawa Tooru		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nakagawa_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部美術技術教室209-1		
担当教員TEL/Tel	095-819-2351		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月12:10-12:40		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	○美術における表現の喜びや感動を学ぶ ○長崎を作品に表現することで、長崎県独自の可能性と課題を考える ○全学モジュール科目の選択科目(モジュール)		
授業到達目標/Course goals	1. 日常的な縛りから開放される人間の意義を説明することができるようになる 2. 身近な環境との出会いや交流を実現することができるようになる 3. 制作を通して自由な発想と多様な表現方法を獲得することができるようになる		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	提出物 [ 作品 ] ( 40% )、提出物 [ レポート ] ( 30% )、受講態度 [ 積極的な参加 ] ( 30% )		
各回の授業内容・授業方法 ( 学習指導方法 ) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	内容については必要に応じて適宜指示するが、予習 2 時間・復習 2 時間を要する		
キーワード/Keywords	現代美術、デザイン、創造、セルフエスティーム		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用しない 参考書については適宜紹介する		
受講要件 ( 履修条件 ) / Prerequisites	実技を実施するので定員は50名以内 長崎県美術館でのワークショップ		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 ( 上記連絡先参照 ) または「アシスト広場」 ( 障がい学生支援室 ) にご相談下さい。 アシスト広場 ( 障がい学生支援室 ) 連絡先 ( TEL ) 095-819-2006 ( FAX ) 095-819-2948 ( E-MAIL ) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 ( URL ) / Remarks ( URL)	○長崎県美術館でのワークショップは 5 / 3 ( 日 ) ~ 5 / 4 ( 月 ) 【要 : 日程調整】 ○問題意識をもって受講して欲しい ○材料用具は個人負担であり、準備物は不可欠である。また、制作に必要な時間には個人差があり、作品完成のために時間外での制作が必要である		

学生へのメッセージ/Message for students	準備・事前学習 美術に関心を持ち、楽しみながら学ぶ習慣を日頃からつけておくこと 授業のなかで適宜、具体的な内容について指示する	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	中川 泰 / 小学校・中学校・高校の教諭としての実務経験 / 教育現場に基づく教育内容	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	美術表現の意義と役割について	A D
第2回	現代美術の原点と魅力について	A D
第3回	岩井俊二作品を観る(1)	A D
第4回	岩井俊二作品を観る(2)	A D
第5回	映画鑑賞写真を撮る(1)	B C
第6回	映画鑑賞写真を撮る(2)	B C
第7回	美術の可能性を求めて	A D
第8回	非現実的な作品を創る	B C
第9回	博学連携による実習(1)【特別講師:宮崎 友理子】	B C
第10回	博学連携による実習(2)【特別講師:宮崎 友理子】	B C
第11回	長崎県美術館でのワークショップ(1)	B C
第12回	長崎県美術館でのワークショップ(2)	B C
第13回	長崎県美術館でのワークショップ(3)	B C
第14回	長崎県美術館でのワークショップ(4)	B C
第15回	「長崎」をアートすると(1)	B D
第16回	「長崎」をアートすると(2)	B D

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/09/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200587067101	科目番号 / Course code	05870671
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 16411_005		
授業科目名 / Course title	a14美術の魅力を探る / Seeking the Charm of Art		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	牧野 一穂 / Kazuho Makino, 金原 雅樹 / Kanahara Masaki, 宮崎 友理子 / Miyazaki Yuriko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	牧野 一穂 / Kazuho Makino		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	牧野 一穂 / Kazuho Makino, 金原 雅樹 / Kanahara Masaki, 宮崎 友理子 / Miyazaki Yuriko		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4, 5, 6	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育・経済・薬学・水産学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	nakagawa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Office	教育学部美術技術教室209-1		
担当教員TEL / Tel	095-819-2351		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月12:10-12:40		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<ul style="list-style-type: none"> <li>○美術の魅力を探る</li> <li>○美術における表現の喜びや感動を学ぶ</li> <li>○全学モジュール科目の選択科目(モジュール)</li> </ul>		
授業到達目標 / Course goals	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 美術の魅力を説明できる</li> <li>2. 自らを日常的な縛りから開放させることができる</li> <li>3. 自由な発想と多様な表現方法を獲得する</li> </ol>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<ul style="list-style-type: none"> <li>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</li> <li>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; / Activities involving others to think from various perspectives</li> <li>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; / Activities to practice for acquiring skills</li> <li>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</li> <li>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</li> <li>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; / It consists only of lectures from teachers</li> </ul>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	提出物 [ 作品 ] ( 40% )、提出物 [ レポート ] ( 40% )、受講態度 [ 積極的な参加 ] ( 20% )		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	授業時に指示する		
キーワード / Keywords	美術、創造、長崎県美術館、日本画		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書は使用しない 参考書については適宜紹介する		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	第2Qで、日曜日に集中講義で開講する【6月28日(日)、7月5日(日)、7月12日(日)】 原則、その3日間すべてに出席することが受講要件である 準備物等については必ず掲示物を確認すること		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	○問題意識をもって受講して欲しい ○材料用具は個人負担であり、準備物は不可欠である。また、制作に必要な時間には個人差があり、作品完成のために時間外での制作が必要である	
学生へのメッセージ/Message for students	準備・事前学習 美術に関心を持ち、楽しみながら学ぶ習慣を日頃からつけておくこと 授業のなかで適宜、具体的な内容について指示する	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )		
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
6月28日(日) 限	美術と私( ) 【担当者: 米田 耕司(長崎県美術館 館長)】	D
6月28日(日) 限	美術と私( ) 【担当者: 金原 雅樹(長崎県美術館 常務理事・事務局長)】	D
6月28日(日) 限	はじめての日本画( ) 【担当者: 牧野 一穂(教育学部 准教授)】	C
6月28日(日) 限	はじめての日本画( ) 【担当者: 牧野 一穂(教育学部 准教授)】	C
6月28日(日) 限	はじめての日本画( ) 【担当者: 牧野 一穂(教育学部 准教授)】	C
7月5日(日) 限	美術館の概要、未就学児向け「スクールプログラム」の紹介と表現プログラム「線のおさんぽ」体験 【担当者: 宮崎 友理子(長崎県美術館 エducーター)】	A B
7月5日(日) 限	アート作品鑑賞1・・・対話型鑑賞「Visual Thinking Strategies」に挑戦 【担当者: 宮崎 友理子(長崎県美術館 エducーター)】	A B
7月5日(日) 限	美術館での教育普及・生涯学習の仕事 【担当者: 宮崎 友理子(長崎県美術館 エducーター)】	A B
7月5日(日) 限	Workshop1-1 コラージュによる表現 【担当者: 宮崎 友理子(長崎県美術館 エducーター)】	C D
7月5日(日) 限	Workshop1-2 コラージュによる表現 【担当者: 宮崎 友理子(長崎県美術館 エducーター)】	C D
7月12日(日) 限	アート作品鑑賞2・・・対話型鑑賞、グループ活動 【担当者: 宮崎 友理子(長崎県美術館 エducーター)】	A B
7月12日(日) 限	社会における美術館の役割、アートイベントやワークショップの企画について 【担当者: 宮崎 友理子(長崎県美術館 エducーター)】	A B
7月12日(日) 限	クリエイティブな発想力とは? 【担当者: 宮崎 友理子(長崎県美術館 エducーター)】	A B
7月12日(日) 限	Workshop2-1 帽子をつくろう 【担当者: 宮崎 友理子(長崎県美術館 エducーター)】	C D
7月12日(日) 限	Workshop2-2 帽子をつくろう 【担当者: 宮崎 友理子(長崎県美術館 エducーター)】	C D